

神経精神科

a. 体制（2024年3月31日現在）

主任部長：高木 賢一
医師：加藤 諒
医師：山村 啓眞
応援医師：深尾 憲二郎
応援医師：波多腰 桃子
応援医師：岩崎 明日香
臨床心理士：吉岡 千波

b. 診療体制と特徴

- 1 うつ病などの気分障害や神経症圏の病態を中心に、統合失調症や症状性・器質性精神障害なども含む精神疾患全般の外来診療を行っている。
- 2 認知症ケアチーム、緩和ケアチームなどとも連携し、一般診療科入院患者の精神症状や精神的問題への介入（リエゾン精神医学）も積極的に行っている。
- 3 MRI・CT・脳波や知能テスト・心理テストなど各種検査を通じて、身体と心理の両面から精神疾患にアプローチし、診断に役立てている。
- 4 必要に応じて、臨床心理士によるカウンセリングを行ない、治療に役立てている。
- 5 精神保健福祉士が相談に応じており、医療面で利用できる制度や社会資源の紹介を行なっている。保健センターや作業所などとも密接に連携し、患者の早期社会復帰を目指している。
- 6 外来統計
神経精神科の今年度外来患者のべ数（初診および再診の合計）は8551名（昨年度8436、一昨年度8149）、今年度病院営業日数は243日であり、1日あたり外来受診数は35.6名（昨年度30.9名、一昨年度30.3名）であった。また今年度外来初診総数は422名（昨年度501名、一昨年度363名）であった。

c. 研究・業績

【研究】

- 1 総合病院精神科に受診するうつ病患者に対する精神療法
（高木賢一）
- 2 摂食障害患者の家族療法についての研究
（岩崎明日香）
- 3 緩和ケアにおける精神療法についての研究
（高木賢一）
- 4 精神科リエゾンコンサルテーションにおける統計学的研究
（高木賢一）
- 5 総合病院入院中の認知症患者および高齢者に対する精神科薬物療法および非薬物療法
（高木賢一）
- 6 パーキンソン病関連疾患の精神症状に対する精神科薬物療法
（高木賢一）